

新冠町における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 1年目）

新冠町地域公共交通総合連携計画の目標

・高齢者等に配慮した利用しやすい移動手段の確保
 ・公共交通空白地域の解消と身近な地域公共交通の確立
 ・高齢者福祉事業や生涯学習、文化活動との連携による地域活性化
 効率かつ効果的で円滑な地域交通体系の確立

22年度総合事業計画の概要

1) 予約運行方式の実証運行

運行期間 : 第1期 H22.9~ H22.10 第2期 H23.1~ H23.2
 運行区域 : A区域 新冠町 : 共栄、東川 日高町 : 厚賀、美原、豊田
 (厚賀駅発着) B区域 新冠町 : 美宇、太陽、新和、里平 日高町 : 正和、三和
 運行本数 : 第1期 1日2便、第2期 1日4便、日曜・祝日・年末年始運休
 運賃 : 同一区域の乗降車300円、区域を越える降車500円 (小人半額)
 運行委託先 : (有)厚賀ハイヤー

自宅送迎の様子



乗り継ぎの様子



新冠町地域公共交通活性化協議会開催状況

6月22日 第1回協議会を開催

- ・本年度事業、収支予算について
- ・第1期予約運行実証運行について

12月1日 第2回協議会を開催

- ・第1期予約運行実証運行結果について
- ・第2期予約運行実証運行について

2) 地域説明会の実施

「予約運行方式実証運行」説明会の開催 及び利用登録手続きのお知らせ

日高町及び新冠町では、市民のみならず、広く、かつ効率的で持続可能な地域公共交通のあり方について検討してきました。この中で、貸用バスが運行している厚賀・太陽線を除き、これに代えて「予約運行方式」の導入をめざし、今後、その実証運行を実施いたします。つきましては、本件について下記のとおり地域説明会を開催いたしますので、ぜひ出席いただきまますようご案内申し上げます。

開催月日	発 着	去 場	地区名
平成22年8月2日 (月)	午前10時~	三和車庫	三和
	午後1時~	正和地区交通センター	正和
	午後3時~	豊美生活館	豊田
平成22年8月3日 (火)	午前10時~	厚賀駅前	厚賀、美原
	午後1時~	共栄生活館	共栄
	午後3時~	東川生活センター	東川
平成22年8月4日 (水)	午前10時~	新冠生活館	新冠
	午後1時~	里平生活センター	里平
	午後2時45分~	太陽町6号入庫一八	太陽
	午後4時30分~	美宇生活センター	美宇

- ※ 説明会は1時間程度を予定しております。
- ※ ご都合に合わせて、どの会場へ出席しても結構です。
- ※ 説明会へ出席できない方は、詳しく内容を知らせていただき、お手数ですが下記まで報告をお願いします。

予約運行方式とは？

利用者からの予約があったときのみ運行するシステムです。予約が無い場合は運行しないため、効率的な運行が可能です。

利用する場合は、登録が必須です！

事前に予約「利用登録申込書」を提出するが、簡単な予約申込のため、利用開始まで登録した時点で予約が取り残す。



【問い合わせ先】

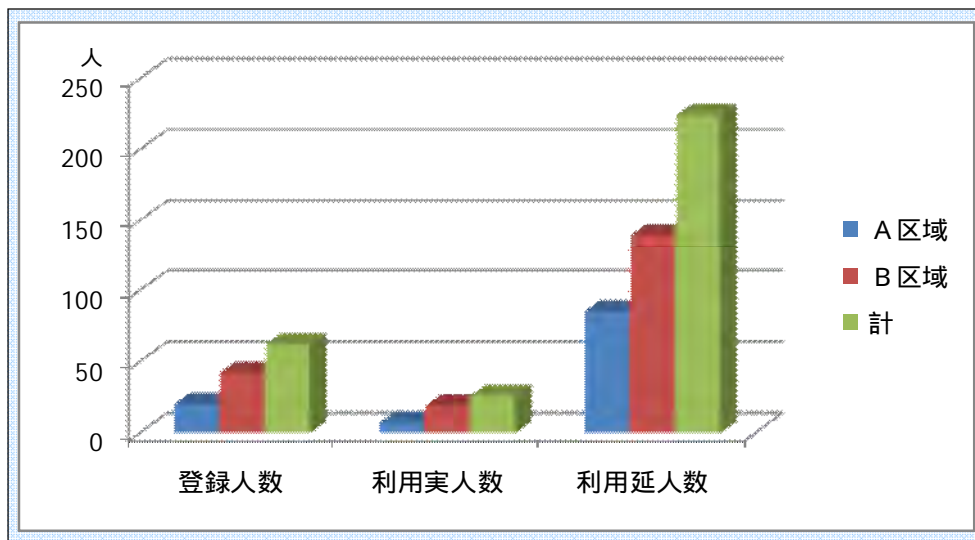
- 日高町地域公共交通活性化協議会 事務局
 日高町健康センター まちづくり・広報課グループ 電話 (01456) 2-6181
- 新冠町地域公共交通活性化協議会 事務局
 新冠町 福祉センター まちづくりグループ 電話 (0146) 47-2498

22年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

予約運行方式の実証運行について
高齢者等の利用割合が高い 自宅送迎の実施
乗継待機時間の短縮 予約による運行時刻の設定
都度変わる自宅迎え時刻 インフォメーションサービス
地域の隅々まで運行 条件に適した車両規格の選定
効率的な運行ルート選定 登録制による事前把握

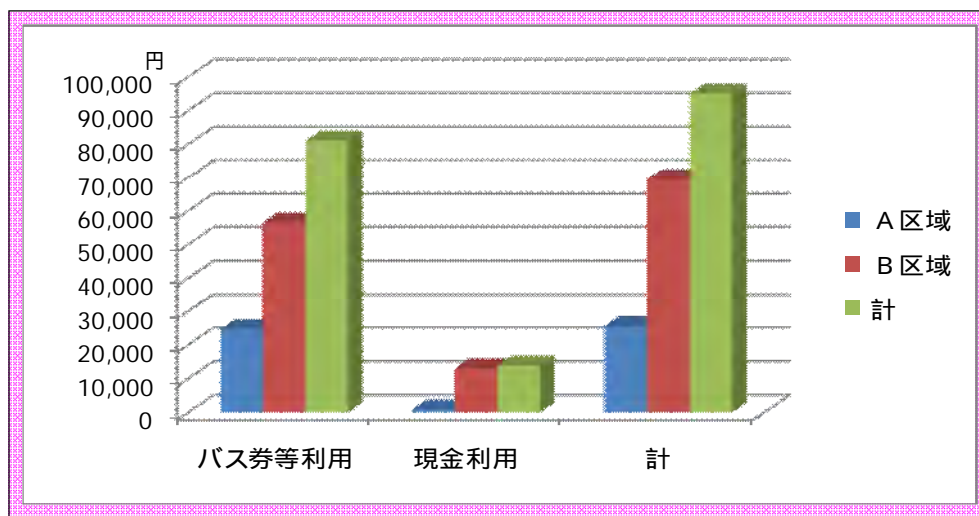
3) 利用実績



2) 運行区域



4)収入実績



5)事業実施効果

予約運行方式の実証運行

・公共交通空白地域が解消

・利用者の増加 :一日平均 4.6人 5.0人

・新規利用者 :利用者実人数 21人 うち新規 6人

・走行キロ数の減 :一日平均153.2km 66.4km (43%減)

・経費削減 (推計) :6,100千円 / 年 3,979千円 / 年 (35%減)

・利便性の向上 :86%の利用者が便利と感じている

6)今後の課題

予約運行方式の本格稼働に向けて (H23年度～)

- ・身近な地域公共交通としての定着化と利用者の拡大
- ・運行財源の確保

自己評価のポイント

- ・デマンドバス実証運行により、交通空白地域の解消や運行経費の効率化が確認された。
- ・利用者ヒアリングの結果、利用者の大半が高齢者であることから、適切な事業であると判断される。
- ・来年度から本格運行予定である。

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり。来年度からの本格運行に向け、身近な地域公共交通としての定着と更なる利用者の拡大を図るため、所要の改善を検討されたい。